

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2009年11月 検針分)

2009年6月～2009年8月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。
原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただきます。

2009年11月 検針分の従量料金単価は、2009年10月 検針分に比べ、1m³(46.1MJ)当り
0.3696円(消費税込)の値上がりとなります。

●従量料金単価

(消費税込)

	単位	(A) 2009年10月	(B) 2009年11月	(B)-(A)
A料金表 (0m ³ ～24m ³)	円/m ³	211.1320	211.5016	0.3696
B料金表 (24m ³ を超える)	円/m ³	153.7810	154.1506	0.3696

従量料金単価 = 基準単位料金 + 調整額

●平均原料価格

	単位	2009年5月 ～ 2009年7月	2009年6月 ～ 2009年8月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	36,910	37,190	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	42,690	44,440	
平均原料価格	円/トン	37,400	37,770	48,740

平均原料価格 = LNG平均価格 × 0.9471 + LPG平均価格 × 0.0573

(10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が77,980円以上となった場合は77,980円

原料価格変動額 = 基準平均原料価格 - 平均原料価格

$$= 48,740 - 37,770 = 10,900 \text{ 円/トン}$$

(100円未満端数切捨て)

●調整額の算定について

調整額 = -0.088 × 原料価格変動額 / 100円 × (1 + 消費税率)

$$= -0.088 \times (10,900) / 100 \text{円} \times (1 + 0.05) = -10.0716 \text{ 円/m}^3$$

(小数点第5位以下端数切捨て)

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m ³)	(A) 2009年10月	(B) 2009年11月	影響額 (B)-(A)
32	7,016	7,028	12